

令和6年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



10月号

暑さも落ち着き、ようやく秋を感じられる季節になってきましたね。

今月からは、いろいろな遊びを紹介していきたいと思います。

今月は、見えない・見えにくい人も一緒に遊べる『さわってなぁーに?』と、幼小学部がよく遊んでいる『おにごっこ』を紹介します。

『さわってなぁーに』

板に描かれた形を見て、同じ形のブロックを手探りで探し出す遊びです。

出題された形と同じ形のブロックを手探りで探します。



トレイにブロックを入れ、大きな布をかぶせれば、何人かで同時に探すこともできますね。



よく似た形もあるので、ちゃんと合わせて確かめます。

見える人は、板に描かれた絵を見て、全盲の人は、言葉の説明を聞いたり指で形をなぞったりして、一緒に楽しく遊べます。ただし、形のラインは浮き出していないので、指でなぞる時には一工夫が必要です。

『おにごっこ』

【鬼決めジャンケン】

ジャンケンで出した手の形が見えない、見えにくいので、「ジャンケン、パー」のように声も一緒に出します。鬼に決まった人は、声に出して10秒数えてから追いかけて始めます。

雨の日以外は、自然と中庭に集まり、数人集まった時点で、「おにごっこしよう」というのが、幼小学部の休み時間の定番になっています。2年生から6年生までと一緒に仲良く遊んでいます。



【中庭という場所】

左の写真のように、遊具が点在し、ブランコとその囲い、砂場、水洗い場やフェンスなど、段差や障害物だらけの場所です。そこを、全盲の高等部の先輩もたまに一緒に遊んでくれる時があるのですが、かなりのスピードで走り回ります。ほとんどつまずかず、ぶつからずに動けるのは、幼い頃から、授業を通していろいろな物の位置の確認を積み重ねてきた結果です。



ホワイトボードを中庭に置き換えて、遊具に見立てた磁石を貼って置いて、配置されている場所を把握したり、実際の場所に行って、何度も繰り返し自分で歩いて触って感覚を養ったりしてきました。校舎内外のあらゆる物をそうして把握しています。

幼小学部にいる全盲の児童は、今まさにそれを勉強中で、積み重ねている最中です。遊ぶときは、手をつないで走っています。



【追いかける方・逃げ方】

全盲の児童も一緒に遊んでいるので、位置や距離感が掴めるよう、写真のように手を叩きながら追いかけてたり、「わー」「おー」など声を出し続けながら追いかけてたり逃げたりしています。

左の写真のように、教員が手を引くことも多いですが、時には上級生が手を引いて一緒に逃げたり追いかけてたりしています。